

やんばらあ〜わっと 2013年10月 第25号

沖縄県条例の歩み

いま な じりつせいかつ ちち きん しんもん のぼり びょういん
今は亡き自立生活の父でもあった筋ジストロフィーの新門 登さんが病院での

く なんめい びょういん なか しせつ なか う いのち ちいきしゃかい なか
暮らしで、何名も病院の中や施設の中で生まれてきた命を、地域社会の中

せいかつ お ひと おお ぼく びょういん しせつ ちいき
で生活することなく落としていった人が多くいたので、「僕は病院や施設じゃなく、地域

しゃかい なか じんせい ふつう せいかつ おも じりつせいかつ はじ
社会の中で人生を普通に生活していきたいんだ」という思いで自立生活を始め

られた。そこには、にっぽん せいどてき ふび げんじょう し よこ ねむ
日本に制度的な不備の現状を知り、ベッドに横になって眠りたくても

かいじょしゃ よこ じゅうど しょう すわ ねむ ひ
介助者がいないと横になれない重度の障がいなので、座ったまま眠る日もあり、

ほんとう にんげん ふつう く くる ひび いちにん
本当に人間らしい普通の暮らしができなく苦しんだ日々もあったそうです。一人の

にんげん ちいき あ まえ せいかつ おく さいご びょうきたたか ぬ じぶん
人間として地域で当たり前の生活を送り、最後まで病気と闘い抜き、自分らしく

せいかつ おも じんせい こと いぜんかた
生活できてよかったと思える人生にしたいという事を以前語っていました。そういった

かんてん じゅうど しょう いのちかがや よ なか しょう も
観点から、重度の障がいがあっても命輝けるような世の中、障がいを持つてる

かた も かた ふつう く きょうせい しゃかい けっせいしきなら
方も持っていない方もともに普通に暮らしあえる共生の社会をつくりたく結成式並び

しょう とうじしゃ かんけいだんたい よ はじ
に障がい当事者や関係団体に呼びかけが始まりました。

じちたい う みち なかま しえん
そこで、自治体のヘルパーサービスを受ける道すじをつくり、仲間の支援をやりつづけ、これから

う なかま す かんきょう じょうれい つく じりつせいかつ
生まれてくる仲間にとって住みよい環境にするために条例を作ろうと、自立生活セン

ない めいあま にんずう けっせいしき はじ べんきょうかい
ターイルカ内で20名余りの人数で結成式が始まり、シンポジウム、勉強会、フ

さまざま こと おこな
オーラム、様々な事を行ってきた。

なか しよめいかつどうさんまんせんごひゃくさんめい あつ
その中に、うちな-TRYで署名活動三万五千五百三名を集め、ムーブメントを

つく だ
作り出した。

しょう とうじしゃ いちにんいちにん ちから かさ あ おきなわけんみん しょう
これは、障がい当事者の一人一人の力が重なり合って沖縄県民に障が

も ひと げんじょう しょうへき しかい おうえん かいごしゃ ちいき ひと
いを持っている人の現状や障壁の理解を応援してくれる介護者や地域の人た

たけん かいがい ひと ほうどうじん とも ふか かいぜん もと
ち、他県や海外の人たち、OTVなど報道陣と共に深め、改善を求めていったから

おお かた しよめい おも しみんりつぽう
こそ、このような多くの方が署名してくれたものだと思います。まさしく、これが市民立法で
す。

しよめい しょう ひと ひと いのちかがや じょうれい かい おきなわ
この署名を障がいのある人もない人も命輝く条例づくりの会が沖縄

けんちじ じょうれいあん しよめい ちよくせつてわた けんみんかいぎ た あ
県知事に条例案と署名を直接手渡しました。それから県民会議が立ち上がり
ました。

けんみんかいぎ さまざま ぎろん ふくしかんけいだんたい きと ちょうさ さべつじれい
県民会議では様々な議論や、福祉関係団体からき取り調査をし、差別事例

あつ ぶんせき いけん き なか けんみんかいぎ たましい
を集め、分析するなど、パブリックコメントの意見を聞いていく中、県民会議の魂

ぜんぶん はい みなお じょうこう はんえい
でもある前文が入り、見直し案項も反映された。

けんぎかい なか いっぱんしつもん ほんかいぎ ぜんかいいっち
県議会の中でも一般質問などもあり、本会議でも全会一致でH25,10,11

かけつ せいりつ しろう ところ のこ な
可決し成立した。26,4,1 から施行です。) まだみんなの心に残っている亡くなっていった

なかま しゃしん すがた かけつ しゅんかん みとど
仲間の写真の姿とともに可決の瞬間を見届けた。

ご ゆびふえおうこく えんそう おお
その後のセレモニーでは、ケントミバンド、指笛王国おきなわの演奏などがあり、多くの

けんみん かた じょうれいかけつ よろこ ひ
県民の方が条例可決の喜びをわかちあった日となりました。

じょうれいぶん こんご おきなわけんほけんふくしか けいさい よてい
条例文は今後、沖縄県保健福祉課のホームページに掲載される予定です。

M.A

第9回フィールドトリップin名護

ことし なご まち なつこうれい だい
今年も名護の街に夏恒例の大イベント

「フィールドトリップ」の季節がやって来ました！こ

じき おきなわ たいふう きぶし
の時期の沖縄は台風の季節でもあり、

まいとしいふう く こ
毎年台風が来るか来ないかでひやひやしな

じゅんぴ すす ことし
がら準備を進めておりますが、今年は

せいてんつづ しんぱい どうじつ は あ さいこう
晴天続きでなんの心配もなく、イベント当日もきれいに晴れ上がって最高のロケーションでした。

もくてき ちぎよ ほうりゅう わ なか たの
フィールドトリップの目的はバーベキューや稚魚の放流やスイカ割りをする中で、楽しさか

まな にんげんかんけい こうちく たか じこしんらい かいふく ともど
ら学び人間関係の構築を高めていき、自己信頼の回復を取り戻していくこと、



なら きょうせい しゃかい とも あゆ まいとしおこな
並びに共生の社会を共に歩めるように毎年行っています。

ことし さんかしゃにんずう
そして今年の参加者人数はなんと135

めい かくさいこう あい
名で過去最高となりました！ダスキン愛の

わききん きゅうしゅう おきなわ じっこう
輪基金や九州・沖縄エリア実行

いいん ちいき ふくしかんけいしゃ みな
委員、地域の福祉関係者の皆さん、



かか みな
関わってくれたすべての皆さん、ありがとうございました！

とし お ひろ かつどう こんご かつどう じぞく
年を追うごとにどんどん広がっていくこの活動、今後もこの活動を継続させ、ますます

かつどう わ ひろ
活動の輪を広げていきたいです。

さんかしゃ みな とど かんそう しょうかい しめん つごう
それではここからは参加者の皆さんから届けられた感想を紹介いたします。紙面の都合

じょういちぶばっすい りょうしょう
上一部抜粋させていただきました。ご了承ください。

ことし くるます ひと つか うみ たの はい
今年もたくさんの車椅子の人たちがチェアボートなどを使って海に楽しそうに入ってたのを

み きかく すば おも
見たときにつづくこの企画は素晴らしいものだなあと思いました。

R・H

あそ ばしょ どうぐ ちゅうい ひつよう
遊ぶ場所や道具など注意が必要なところ

おも
もあつたと思いました。

Y・N



ことし かつ たつだ
今年もダスキンの方たちが手伝ってくれたおかげ

でクリアポートに乗れました。天気も良かったのでとってもいい気持ちでした。

R・T

こんかい はつさんか おきなわ ぜんにんしゃ たの かつどう き
今回が初参加で、ダスキン沖縄エリアの前任者より楽しい活動ということは聞いて

ておりましたが、これこそまさに“期待以上の楽しさ”でした。

O・T

いっしょ たの こと
一緒になって楽しむ事ができました。ただ、

すこ きぬ ちゅう
少し気を抜いていたのか、レクリエーション中

にケガをしてしまい、とちゅう びょういん い
途中で病院に行っ

さんか こと でき こんかい
参加する事が出来ませんでした。今回のフィ



ールドトリップでは大変迷惑をかけてしまいました。

Y・G

さかな ほうりゅう さい てぎわ おも
魚を放流する際、もうちょっと手際よくできたのではないかと思います。

M・T

かい かさ さまざま くふうほんとう ころろ かんしゃもう あ
回を重ねるごとに様々な工夫がされており本当に心より感謝申し上げます。

しぜん こどもたち すがた まいかいまいかいかんどう
自然とたわむれる子供達の姿には毎回毎回感動するばかりです。

T・M

さんか まえ くるまいす かた からだ ふじゆう かた まち み こえ ゆうき
参加する前は車椅子の方や体の不自由な方を街で見かけても声をかける勇気が

ありませんでした。はん にちいつしよ す きも ちか うれ
ありませんでした。半日一緒に過ごしてみて、こんなに気持ちが近づけるんだなあ嬉しく

おも
思えた。

C・I

しょうがいしゃ かたがた だい かんが
障害者の方々を第1に考え、これ

つづ かつどう おも
からも続けていける活動になればと思いま
す。

T・H



こんかい かいめ さんか みな
今回で4回目の参加?となりますが、皆

うれ えがお まいとしよ
さんの嬉しそうな笑顔は毎年良いものですね?

ぎ わ たいこうせん たの おも
グループ決めをし、「スイカ割り対抗戦?」みたいなレクがあるととっても楽しいかな?と思いま
す。

M・K

ちゅういじこう かいすいよくじ はだし こと そうさほうほうとう くわ
注意事項として海水浴時には裸足にならない事やチェアボートの操作方法等を詳

はな よ く じかい お ちゅうい よ か ぜんいん
しく話せば良かったと悔やまれます。次回はケガが起きぬよう注意を呼び掛け、全員が

たの えがお す いちにち でき どりよく
楽しめ、笑顔で過ごせる一日に出来るよう努力したいです。

M・M

虐待防止&県条例

ぎゃくたいぼうし けんじょうれい
虐待防止&県条例

にちめほくぶ にちめちゅうなんぶ
1日目北部、2日目中南部、2

にちかん ぎゃくたいぼうし
日間にわたり、虐待防止セミナーに

さんか
参加しました。



さくねん がつ ぎゃくたいぼうしほう じこう
昨年10月に虐待防止法が施行さ

おきなわけんしょう しゃけんりじょうれい せいてい しょう とうじしゃ
れ、また、沖縄県障がい者権利条例が制定され、これからの障がい当事者、

ぼく やくわり ぎゃくたいぼうしほう じょうれい みぢか かんが
僕らの役割もこの虐待防止法と条例をリンクし、身近なところから考えていける

かいさい
ようにと開催されました。

ぎょうせい かんけいきかん しょう とうじしゃ おお かた さんか うれ かん
行政などの関係機関や障がい当事者など多くの方が参加して嬉しく感じまし
た。

じょうき ほう じょうれい ひつよう いま しゃかい けんじょうしゃ してん
この上記の法や条例がなぜ必要なのかというと、今の社会は健常者の視点

しょう しゃ ちいき ふつう く おも さまざま しょうへき
からつくられ、いざ障がい者が地域で普通の暮らしをしようと思っても様々な障壁

あとひと じょうれい しょう りゆう さべつ きんし ふくし ていきょう
後 一つ 条 例 ですが、障 がい^{きさい}を理由とする差別の禁止、福祉サービス 提 供、

いりょう ていきょう ていきょう こよう けんちくぶつとう ふどうさんとりひき いし
医 療の 提 供、サービスの 提 供、雇用、建 築 物 等、不 動 産 取 引、意 思の

ひょうめい じゅりょう じょうほう ていきょう さべつ きんし きょういく きかい ふよ
表 明の 受 領、情 報の 提 供における差別の禁止、教 育における機 会^{きさい}の付与

などこういったことが記載されています。

ぎゃくたい われわれ ほう じょうれい かつよう ちいきしゃかい か
虐 待をなくすためには、我 々がこの法や条 例を活 用して地 域 社 会を変えてい

くことにあるかと思 います。関 心を持って活 用していき、次第にこの地 域 社 会を障 がい

ひと ひと とも く きょうせい しゃかい おも
いのある人もない人も共に暮らせる共 生の社 会にしていきたいと思 います。

さんか みなさま
参 加された皆 様、ありがとうございました。